

デジタル日めくりカレンダー電波時計

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、この取扱説明書(保証書付)はお手元に保存の上、必要に応じてご覧ください。

内容物の確認 ご使用の前に確認してください

- ☐ 時計本体 1個
- ☐ 単3乾電池 2本
- ☐ 壁掛け用ひも
- ☐ 取り扱い説明書/保証書(本紙) 1枚

各部の名称

液晶表示

月表示

裏面

年表示

電池切れ
注意アイコン

日表示

曜日表示

第何曜日
表示入切
曜

午前/午後表示

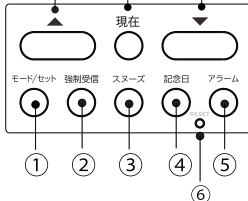
時刻表示

記念日アイコン

壁掛け穴

壁掛け用ひもフック

▲ボタン 現在ボタン ▼ボタン



- ①モード/セットボタン
- ②強制受信ボタン
- ③スヌーズボタン
- ④記念日ボタン
- ⑤アラームボタン
- ⑥リセットボタン

置き用スタンド

電池カバー

はじめかた

1. 電池を入れる(単3形乾電池2本)

本体裏面の電池カバーを開けて、くぼみの部分を引くようにすると開けられます) ①側から電池を入れてください。画面液晶に【1月1日 第1火曜日 午前12:00】と表示されます。

- 電池の⊕⊖の向きを間違えないように注意してください。
- 種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。
- 付属の電池はテスト用電池のため、本書記載の電池寿命に満たない場合があります。

2. 電波を受信する

電波受信アイコンが点滅しているのを確認してください。本体を窓際などできるだけ電波の受信しやすい場所に置いてください。
(10分以上受信にかかる場合があります。)

【受信に成功した場合】

電波受信アイコンが点灯します。
正しい時刻、日付が表示されます。

【受信に失敗した場合】

電波受信アイコンが消灯します。再度受信を試みる(強制受信ボタンを長押し)、またはリセットボタンを押す、または手動で設定してください。
手動での設定は【手動で設定する】をご参照ください。

- ・うまく受信できない場合は本体の向きや場所を変えて、もう一度受信させてください。使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
- ・夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。



電波受信アイコン

手動で設定する

1. 電波受信をやめる(電波受信アイコンが点滅している場合)

電波受信中(電波受信アイコンが点滅)の場合は強制受信ボタンを約3秒間長押しして、電波受信を止めてください。



2. 手動で日付、時刻を設定する

① モード/セットボタンを約3秒間長押ししてください。
「時」が点滅しますので、(液晶画面下部) ▼ボタン、または ▲ボタンで現在の正しい時刻の「時」を設定してください。

モード / セットボタンを押してください。

②現在時刻の「分」が点滅しますので、▼ボタン、または▲ボタンで現在の正しい時刻の「分」を設定してください。

モード / セットボタンを押してください。

③現在時刻の「秒」が点滅します。▼ボタン、または▲ボタンを押すと秒が「00」にリセットされます。

モード / セットボタンを押してください。

手動で設定(つづき)

④日付の「年」(液晶左上)が点滅しますので、▼ボタン、または▲ボタンで現在の正しい時刻の「年」を設定してください。

モード / セットボタンを押してください。

⑤日付の「月」(液晶中央上)が点滅しますので、▼ボタン、または▲ボタンで現在の正しい時刻の「月」を設定してください。

モード / セットボタンを押してください。

⑥日付の「日」(液晶中央)が点滅しますので、▼ボタン、または▲ボタンで現在の正しい時刻の「日」を設定してください。

モード / セットボタンを押して設定完了です。

※▼ボタン、または▲ボタンを長押しするとは早く数字を変更できます。

※15秒間何もボタンを押さないと点灯が終わり、通常の画面に戻ります。

六曜チェック機能

①背面の▼ボタンを押すと昨日の、▲ボタンを押せば翌日の六曜を確認できます。現在ボタンを押すと今日の日付に戻ります。



六曜は暦日の1つで旧暦の月日から導きだされ、先勝 友引 先負 仏滅・大安・赤口の6種類があります。西暦2033年 2034年については、旧暦(天保暦)の月名を決める法則では月名が決定できなくなるため、本製品は代替の基準を適用しています。このため、六曜の表示が他のカレンダーと異なることがあります。
※六曜は慣習として使われていますが、公的な機関が定めたものではありません。

記念日機能

- 記念日を最大18日分設定することができます。
- 記念日当日は記念日アイコンが画面右上に表示されます。
- 通常表示時に記念日ボタンを押すと、設定された記念日を確認できます。モード/セットボタンを押すと通常画面に戻ります。

記念日設定方法

①記念日ボタンを長押しします。記念日設定画面が表示されます。

(第何曜日表示の下に「記念日」と表示され、「切」が点滅します。

②▼ボタン、または▲ボタンで「入」を選択します。

③記念日ボタンを押すと記念日の「月」が点滅するので▼ボタン、または▲ボタンで記念日の「月」を設定してください。

④記念日ボタンを押すと記念日の「日」が点滅するので▼ボタン、または▲ボタンで記念日の「日」を設定してください。

⑤記念日ボタンを押して設定完了です。

⑥通常画面に戻る場合はモード/セットボタンを、他に記念日を設定する場合は記念日ボタンを押して記念日2に移動してください。

●表示を点滅したままにしておくと、約15秒後自動的に通常表示に戻ります。

※2月29日を記念日として設定した場合は、うるう年のみ記念日を表示します。

※記念日は年と時刻の設定はできません。

※設定した記念日を表示させない場合は、手順②で「切」を選択してください。

アラーム設定方法

① モード/セットボタンを押すと、現在時刻表示がアラーム時刻表示に切り替わり、秒表示が消え、午前/午後の上に「アラーム」と表示されます。

アラーム
午前 7:00

②モード/セットボタンを長押しするとアラーム時刻の「時」が点滅します。▼ボタン、または▲ボタンで起きたい時刻の「時」を設定してください。

アラーム
午前 7:00

モード / セットボタンを押してください。

③アラーム時刻の「分」が点滅します。▼ボタン、または▲ボタンで起きたい時刻の「分」を設定してください。

アラーム
午前 7:00

モード / セットボタンを押して設定完了です。

注意!

アラームを使用するときは必ずアラームボタンを押してアラームオンアイコンを表示させてください。



アラームオンアイコン

アラームの止め方

- アラームが鳴った際、スヌーズボタン以外のいずれかのボタンを押すとアラームが停止します。
- ボタンを押さない場合、アラーム音は2分間鳴り続け、その後自動的に停止します。

スヌーズについて

- アラームが鳴っている間にスヌーズボタンを押すと、アラームオンアイコンが点滅し、5分後に再び鳴ります。
- スヌーズ機能は最大7回まで繰り返し利用できます。



スヌーズボタン

温度について

温度計測機能: 計測範囲=-5℃~+50℃ 表示単位= 0.1℃

計測精度=±2℃ (0℃~40℃)

※温度が-5℃以下では「LL.L」、50℃以上になると「HH.H」と表示されます。

- 同じ室内でも、風通しが良く空気が循環している場所と、部屋の隅など空気が滞留している場所では、温度が大きく異なることがあります。

注意!

※ 本製品は工業用計測器としての使用を目的として製造されたものではありません。使用に際しては、製品の特性を十分にご理解いただいた上でご利用ください。

※ 温度の精度誤差等によって生じる二次災害や損害について、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電池交換について

電池交換のお知らせ

液晶画面に電池切れ注意アイコンが表示されたときは、ご使用中の電池の残量が少なくなってきたお知らせです。速やかにすべての電池を交換してください。放置をすると電池からの液漏れによる故障や損傷のおそれがあります。

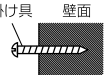


故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	処置
時刻・カレンダー が合っていない。	・電波受信に成功していない。 ・電池の容量が少なくなっている。	・再度電波受信を試みるか、手動で設定してください。 ・新しい電池に交換する。
電波を受信しない。	・電波受信の良くない場所 (使用場所についてを ご参照ください) ・電池の容量が少なくなっている。	・窓際など電波受信に適した場所に置く。 ・新しい電池に交換する。
月日は正確なのに 曜日だけがまちがって 表示されている。	・[年]の設定が正しくない。	・電波受信をして正確な日付に修正するか、 手動で設定を行ってください。

壁掛けについて

※ 掛け具は付属されています。
本製品は確実に掛けてください。壁に掛ける際は置き用スタンドが出ていないようにしてください。本製品の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、本製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。



< 壁掛け穴に直接掛け具を掛ける場合 >
本製品を上下左右、そして手前に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。



< 付属の壁掛け用ひもを使用する場合 >
壁掛け用ひもフックにしっかりと壁掛け用ひもが装着されていることを確認してください。銀の部分が真ん中に来るように入れてください。



※掛け具にひもを掛ける際はしっかり掛かっていることを確認してください。

< 製品の設置場所について >
落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

使用場所・お手入れ

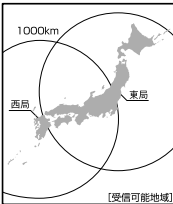
下記のような場所では使用しないでください。本製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。(例) 屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。● 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。磁気の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まることがあります。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。● 工場、倉庫など、多くの油を使用する所。
- ニール系薬剤の塗、腐蝕性の上、壁や建物、および本製品が汚れたり傷むことがあります。● 温度や湿度の変化が激しい所。
- 寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。
- ビルの中、ビルの影、地下
- 高压線、テレビ塔、電車の架線の近く ● テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く ● 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害が起きやすい所 ● 乗り物の中 (自動車、電車、飛行機など)
- スチール机など、金属製の家具の上や近く
- その他、電波/ノイズを発生させるものの近く
- ※ 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。

お手入れについて
● 本体を清掃するときは、湿った、やわらかい布で拭いてください。
● 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、柔らかい布に含ませて拭いてください。その後、柔らかい布で乾拭きしてください。
● お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレー などがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

電波時計について

■電波時計/電波修正機能とは
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。
■標準電波とは
情報通信研究機構 (NICT) が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。
■電波受信について
標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所 (東・西2カ所) からおおむね1000km〜1200kmです。この製品は40kHz (東・福島送信所)、60kHz (西・九州送信所) のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって受信できない場合があります。



- ご注意
- 昼間は生活上のノイズを多く発生するため、受信がしづらい場合があります。夜間に受信することをおすすめします。
- 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。● 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。
- 設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止 (停波) することがあります。停波に関する情報は、情報通信研究機構日本標準時グループのホームページをご覧ください。

必ずお守りください 安全上のご注意

警告 ⚠ 死亡または重傷を負う恐れがある内容

- < 梱包用ポリ袋について >
窒息する恐れがありますが、ので、ポリ袋を絶対にかがらないでください。
- < 液晶パネルについて >
液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶 (液状) が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがありますので、十分注意してください。万一、以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- (1) 皮膚に付着した場合
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- (2) 目に入った場合
きれいな水でよく洗い流し、洗浄した後医師の診断を受けてください。
- (3) 飲み込んだ場合
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の診断を受けてください。

注意 ⚠ けがをしたり家財に損害を与える恐れのある内容

< 製品の設置場所について >
落下や転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

- < 電池について >
下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。
- (1) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、本製品がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、本製品を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、本製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (2) 電池は必ず⊖ 側から入れてください。また、⊕ 側を正しく入れてください。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けたりしないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 本製品が動かないなどの場合、電池の端子が汚れていることがあります。その時は、やわらかい布で乾拭きしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

< 分解や改造をしない >
本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

< 製品と電池の廃棄について >
お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。飲んで吐き出した後、医師の診断を受けてください。

製品仕様

仕様
オートカレンダー表示: 2000年1月1日 ~2099年12月31日までの月、日、曜日
時刻表示 時分秒 (12時間表示)
デリリーアラーム機能電子音 (2分間)、スヌーズ機能付 (5分間)
受信電波:標準電波J1Y、周波数:40kHz/60kHz (自動選局)
自動受信 1日1回 (最多4回) 次回の受信までクォーツの精度で動いています。
表示精度 (受信後) ±1秒以内
精度(クォーツ):平均月差±30秒以内
温度計測機能:計測範囲 -5℃ +50℃ 表示単位=0.1℃
計測精度=±2℃ (0℃ 40℃)
※温度が-5℃以下では「L.L.L」、50℃以上になると「H.H.H」と表示されます。
使用温度範囲:0℃ 50℃ (この温度範囲を超えると液晶表示が見えなくなることがあります。)
電池:単3形乾電池×2本 (マンガンまたはアルカリ乾電池)
電池寿命 約1年間 (マンガンを乾電池使用でアラーム1分/日使用した場合)
※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

使用上の注意

- 静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。リセットボタンを押した場合は、時刻などがリセットされます。
- 本製品は日本標準電波仕様のため、海外では電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

<液晶パネルについて>
● 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったり することがあります。
● 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
● 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
● 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縦模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
・乾いた布などで拭いたとき・指などで液晶パネルを押したとき

保証・アフターサービスについて

- ① 保証書は、この取り扱い説明書に付いておりますので必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年です。
- ② 修理を依頼される場合
【保証期間中は】
 1. 取扱説明書に従った使用状態で保証期間内に内部故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理 をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参ご提示いただきお申し付けください。
 2. 保証期間内でも次の場合には原則有料とさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、そのほか天災地変、異常電圧、指定外の使用電源 (電圧、周波数) などによる故障及び損傷
 - 電池交換 ● 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げの日付、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合【保証期間外の場合は】
 - お買い上げの販売店にご相談ください。
 - ③ 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください※ 保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 必ず各欄の記入・捺印をお確かめの上、大切に保管してください。
- 本書は日本国内のみ有効です。